

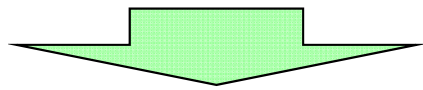
# 石岡市(首都圏ブロック)

【計画期間 21年12月～27年11月】

※ 期間延長適用後

- ・ 奈良～：常陸国国府、中世から近代にかけ霞ヶ浦の水運を活かした中継点
- ・ 明治～：鉄道（JR常磐線、旧鹿島鉄道）の開通により陸上輸送が活発化
- ・ 昭和～：首都圏への交通アクセスの良さを活かし、産業用機械・生活資材製造、果樹栽培発展。

- 鹿島鉄道廃線、郊外大型店の出店、中心市街地からの大型店の撤退により利便性が低下
- 居住人口の減少とともに、少子・高齢化が進展（高齢化率30%超）
- 登録文化財や史跡、「石岡のおまつり」等の歴史的資源への来訪者が減少



## ○ 居住人口

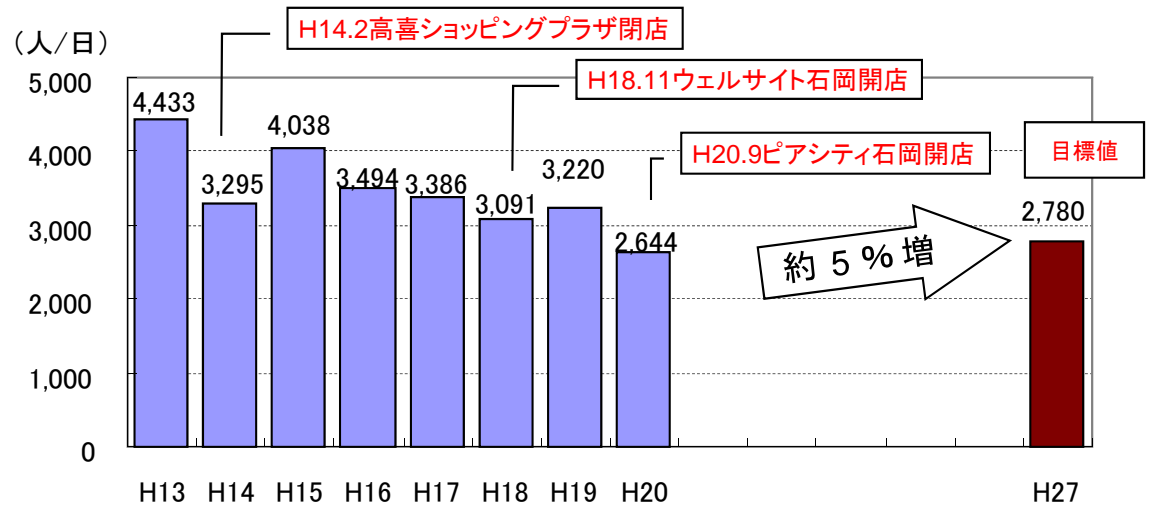
H12 : 5,510人 → H21 : 4,850人 (▲ 11.9%)

## ○ 歩行者・自転車通行量の減少

H13 : 4,433人 → H20 : 2,644人 (▲ 40.3%)

目 標	指 標	現況値 (H20)	目標値 (H27)
生活支援機能が享受でき、快適で安心して暮らせるまち	中心市街地の居住人口	4,850人	4,880人
個性的な商業の活性化に加え、歴史的資産を活かした様々な人々が行き交うまち	歩行者・自転車通行量	2,644人/日	2,780人/日

【歩行者・自転車通行量[平日(3地点)]の推移と数値目標】



■ 駅周辺の官民共創による居住空間整備や新たな交通機能導入等により、生活支援機能の強化を図る。

⇒ 主要事業：① 駅周辺整備、② BRT整備、など

■ 文化施設や商業施設の充実による賑わい空間の創出と歴史的資産の活用により、交流人口増を目指す。

⇒ 主要事業：③ テナントミックス、④ 複合文化施設の整備、⑤ 歴史のみち整備、など

# 石岡市中心市街地活性化基本計画の事業概要

## 生活環境の向上と歴史的資産を活かした交流人口増

### ○テナントミックス事業(③)

地元資源と若い力を活かした以下の事業等により、活気と賑わいを創出。

- ・石岡スイーツプロジェクト: 地元果物・野菜等のスイーツコンテスト、優秀作品販売等。
- ・地元農産物直売所運営事業
- ・地産地消レストラン・チャレンジキッチン事業: 地元農産物直売所と連携。市民シェフが自慢の料理を提供。
- ・SY707活用事業: 空き店舗を高校生のダンス発表会等の場として提供。幅広い世代の交流拠点に。



### ○複合文化施設の整備(④)

市民会館・図書館等の複合的機能を備えた文化施設を整備。イベント等も併せ集客。



### ○歴史のみち整備事業(⑥)

史跡を文化財として登録し、それらと商店街とを結ぶ歩行空間の整備、案内板の設置により、回遊性を向上させるとともに、印象的な街並みを演出。



歴史のみち案内板

まちなかの登録文化財

## 居住・交通等の生活支援機能の強化

### ○駅周辺整備事業(①)

・鹿島鉄道跡地等(約1.63ha)において、公共住宅・民間住宅施設(計120戸)の建設によって居住機能を強化。

・まちなか回遊を促進する情報サービスセンターの整備、駅舎の橋上化・駅前広場の整備等により、市の玄関口、交通結節点としての機能強化。



### ○BRT整備事業(②)

茨城空港(平成22年3月開港)への基幹アクセスを含めた交通結節点の強化として、鹿島鉄道廃線跡地にBRT(Bus Rapid Transit, バス専用道による輸送システム)を導入。



【BRTイメージ】